

亞爾然丁時報

我守備軍寡兵克く陣地を堅持

【東京十七日】帝國陸軍報道部長矢秋少將は十七日午後熱田島の戦況につき左の如く語つた。

二、わが軍は同日朝同島北岸より上陸わが防備線まで前進し來れる敵と日下激戦展開中である。

三、まだ皇軍は十二日夕刻熱田島東岸に上陸を試んとせる米軍を海岸附近において捕獲これを完全に殲滅した。敵は艦砲射撃及び空軍銃爆撃による掩護下に増援部隊を續々上陸せしめてゐるが、わが守備軍は寡兵よく陣地を堅持し旺盛なる闘志を以て引續き反撃敢行中である。前線からの報告にとれば敵は十四百毒瓦斯を使用したが我方はこれを使つてゐない。

第廿四集團軍の敵將

將兵七萬を伴ひ投降

我軍の雲南省新作戦

【東京十七日】大本營五月十日十七時發表河南、山西省境方面において抗戦を續け、ありし唯一の蔣介石直系第廿四集團軍總司令官上將は今回重慶政權を見捨て東亞新秩序建設に參画せんがため孫傳英部下を含む塵下將兵七萬と共に國府陣營に参加せり。

【湖南前線十六日】揚子江南視察旅行を終へた青木大東亞南方狀況奏上

青木大東亞相

（シドニー十六日）西南太平洋方面において交渉する大臣は十五日歸京し、同日天皇陛下に拜謁仰付けられたが、同大臣は皇軍占領諸地域の状況について奏上した。

西南太平洋方面の海鷺部隊連日活躍

（シドニー十六日）西南太平洋方面においては僅かに九機を擊墜し得た最近日本空軍の活動は激化しつゝあり、日本は本日戰線各地域において各種飛行機合計百三機を以て大攻勢に出で其中十九八機はニューギニア島方面に有効である。

（シドニー十六日）南洋方面に有効である。

南京着任の谷新大使

三日間支公使會議開催

日會費改正に決定

第一回役員會開催さる

</div

